



ゆたかな暮らし

簡単に高額収入!?

副業や投資の儲け話に注意!

「情報商材(※)」に関するトラブル相談が増えています。

※情報商材とは、インターネット通販等で、副業や投資、ギャンブルなどで高額収入を得るためのノウハウと称して販売されている情報のことです。

● 事例 ●

SNSで知り合った人に紹介されたサイトの「1日30分で月数百万円を簡単に稼げる」「儲からないときは返金保証」「サポートも万全」という広告を見て、情報商材を購入した。

しかし、手順通り作業しても全く儲からず、サポートもない。広告の内容とまったく違うので、解約し返金してもらいたいが、業者と連絡が取れない。



「簡単に」「短時間で」「必ず」儲かるうまい話はありません!

- ◆情報商材は「情報」自体が商品であるため、購入前に内容や仕組みを確認することができないので、購入後に「広告や説明と違い、とても収入になるようなものではなかった」などトラブルになっています。
- ◆「誰でも簡単に稼げる」「月100万円は確実」「儲からないときは全額返金」といった広告で誘う一方で、情報を得るためには高額な支払いが必要です。また、広告にはなかった別の高額な商材を購入するよう求めてくる場合もあります。
- ◆「返金保証」とあっても、条件に合わないと返金を拒まれたり、契約後に事業者との連絡が取れなくなるケースもみられます。また、通信販売はクーリング・オフの適用もないため注意が必要です。
- ◆広告の「簡単に」「必ず」などの断定的な表示を安易に信用せず、内容や仕組みがよくわからない契約はしないようにしましょう。

アドバイス



マスコットキャラクター さっち

消費者契約法が改正されます

消費者と事業者の情報量や交渉力に格差があることを前提として、消費者の利益を守ることを目的とした「消費者契約法」の改正法が令和元年6月15日に施行されます。消費者契約に関する被害事例等を踏まえ、取消し・無効の範囲が拡大します。

主な改正のポイント

取り消しうる不当な勧誘行為の追加等

① 社会生活上の経験不足の不当な利用

(1) 不安をあおる告知

例) 就活中の学生の不安を知りつつ、「このままでは一生成功しない、この就職セミナーが必要」と告げて勧誘



(2) 恋愛感情等に乗じた人間関係の濫用

例) 消費者の恋愛感情を知りつつ、「契約してくれないと関係を続けられない」と告げて勧誘



② 加齢等による判断力低下の不当な利用

例) 認知症で判断力が著しく低下した消費者の不安を知りつつ、「この食品を買って食べなければ、今の健康は維持できない」と告げて勧誘



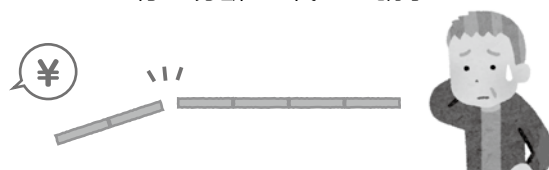
③ 靈感等による知見を用いた告知

例) 「私は霊が見える。あなたには悪霊が憑いておりそのままでは病状が悪化する。この数珠を買えば悪霊が去る」と告げて勧誘



④ 契約締結前に債務の内容を実施等

例) 注文を受ける前に、消費者が必要な寸法にさお竹を切断し、代金を請求



⑤ 不利益事実の不告知の要件緩和

例) 「日照良好」と説明しつつ、隣地にマンションが建つことを故意に告げず、マンションを販売



無効となる不当な契約条項の追加等

① 消費者の後見等を理由とする解除条項

例) 「賃借人(消費者)が成年被後見人になった場合、直ちに、賃貸人(事業者)は契約を解除できる」

② 事業者が自分の責任を自ら決める条項

例) 「当社が過失のあることを認めた場合に限り、当社は損害賠償責任を負う」



商品やサービスの契約トラブルなど、消費生活について困ったときや不安なときは、1人で悩まず、消費生活センターに相談しましょう！

6月12日は市民防災の日 災害に備えて日ごろから安全対策を!

いざという時にあわてないように、防災用品の点検や避難経路の確認など、家族で話し合っておきましょう。



・防災用品の点検

非常食や電池などにも賞味期限や使用期限があるので、定期的に消費して買い足すなど、無駄なく循環備蓄



・避難場所や避難経路の確認

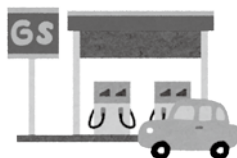
・災害用伝言板サービス等の使い方調べるなど、家族との連絡方法の確認



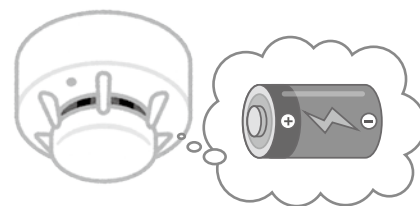
・家具や家電、給湯設備などの形状や重さに合った安全対策の点検



・保険契約の内容の確認



・災害に強い近隣のガソリンスタンドの確認



・住宅用火災警報器の設置や点検

住宅用火災警報器をつけましょう

住宅用火災警報器は、火災に気づきにくい就寝中や出火した部屋から離れている場合でも、火災により発生する煙や熱を感知して、警報音や音声等で火災を知らせてくれます。火災を早期に発見することで、少しでも早く119番通報や屋外へ避難することができ、住宅火災から自分や家族の大切な命を守ることができます。

設置義務があります

仙台市火災予防条例改正により、新築住宅は平成18年6月から、既存の住宅は平成20年6月から住宅用火災警報器の設置が義務化されました。

★購入について

お近くのホームセンター及び家電販売店、電気工事店等で購入できます。

月1回は点検を

正常に作動するか、月1回は点検を行いましょう。
詳しくは、製品の取扱説明書をご覧ください。

○ボタンを押す、またはひもを引いて、電池が切れていないか等をチェックしましょう。

※本体の寿命(交換期限)は、おおむね10年です。(機種によって異なります)

—— 点検方法 ——



ボタンを押す



ひもを引く

住宅用火災警報器の設置、維持管理の詳細は、消防局予防課のホームページをご覧ください。

住宅用火災警報器 仙台市

検索

くらしの情報提供 ~あなたの学びを応援します!~

消費生活センターでは、消費生活についての相談を受けるとともに、くらしに役立つ情報を提供しています。ぜひご利用ください。



講座の開催・講師派遣

○消費生活講座

食の安全安心や環境に関すること、金融に関することなど、消費生活に関する身近な話題をテーマに、専門の講師による講座を開催しています。

参加者の募集については、市政だよりやホームページでお知らせします。



○出前講座

地域などのグループや学校で消費生活に関して学習したいときに、無料で講師を派遣しています。

- ・くらしのセミナー
- ・テーマ「消費者トラブルに遭わないために」
- ・消費者教育講座

くらしに役立つ情報提供

消費生活に関する知識やリコール情報など、くらしに役立つ情報をホームページやリーフレットなどでお知らせしています。また、悪質商法の事例や金融の仕組みなどを紹介した啓発用DVDを貸し出しています。

- 仙台市ホームページ <https://www.city.sendai.jp/>
- メール配信サービス「安全・安心まちづくり情報」
(登録は仙台市ホームページから)
- 情報コーナー(啓発資料の掲示・提供)
- 啓発用DVDの貸し出し

消費者教育WEBサイト「伊達学園」

消費者トラブルの対処法や年代ごとの学習コンテンツの他、クイズやゲームを通して楽しみながら学ぶことができます。

<http://dategakuen.com/>



契約トラブルなどで迷ったときや困ったときは、一人で悩まず早めにご相談ください。

仙台市消費生活
相談ダイヤル

な や む な
022-268-7867

または、消費者ホットライン「188」(局番不要)

相談時間 9:00~18:00 (受付は17:30まで)
年末年始および臨時休館日を除く

対象 仙台市在住または通勤・通学している方

●仙台市消費生活センター

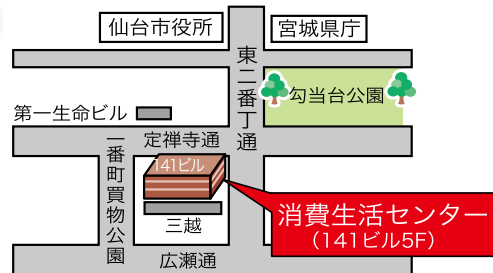
〒980-8555 仙台市青葉区一番町四丁目11番1号
141ビル(三越定禅寺通り館)5階

TEL 022-268-7040 FAX 022-268-8309

E-mail sim004140@city.sendai.jp

ホームページ 仙台市消費生活センター

検索



交通のご案内

- バスご利用の方は
商工会議所前又は定禅寺通市役所前下車
徒歩3分 (仙台駅から所要時間約10分)
- 地下鉄ご利用の方は
地下鉄南北線 勾当台公園駅下車 南1番出口より
地下道で連絡 (仙台駅から所要時間約5分)